

オディリア通信

あいあい

冬号(No.80)

R3年2月10日

社会福祉法人 聖オディリアホーム乳児院
〒165-0031 東京都中野区上鷲宮 5-28-28
TEL (03)5971-8071 FAX (03)5971-8073
Eメール odilia@guitar.ocn.ne.jp
ホームページ <http://odilia.jp>

基本理念 「愛をもって、愛を育てる」

明けましておめでとうございませぬ。

新型コロナウイルスの感染防止策を出
きる限りとりながらの、昨年のお正月とは
違った、新年のスタートとなりました。

一年前は、あんぱんまんのことを「あぱ
」「あっぱ」と言っていた児。自分のあんぱ
んまんの玩具で遊びたい様子で一生懸命
「あぱ」「あっぱ」と言っていました。扉
を開けると、引き出しから自分で取り出し
うれしそうにしています。

そのお子さんも一年経つと、すっかりお
姉さんです。お友達の泣き声を聞いて「○
○ちゃん、えんえんしてるね」と言い、保
育者が「お腹すいちゃったのかな」と言う
のを聞いて「もうちよっとお外で遊びたい
よーかな」「抱っこしてーってえんえん言
ってるんじゃないっ？」など泣いている理由
を考えているのです。

どんな環境でも子ども達は日々成長し、
毎日を精一杯生きています。

感染予防のため、様々な制約のある生活
です。それでも、職員一同知恵を出し合い
ながら感染防止に努め、子ども達が楽しく
遊び、笑いあっている生活できるようにして
いきたいと考えています。

今年もごしんやんごしんへお願いいたします。

施設長 鎌倉 道子

	月	月	月
身長	cm	cm	cm
体重	g	g	g



クリスマス



十二月二十五日は待ちに待ったクリスマス。院内の各所にツリーやクリスマス装飾が飾られると、手を伸ばして「きれいなね」「サンタさん」と興味津々です。当日が近づくと、保育者から「サンタさん来るかな?」と声を掛けられると、少しソワソワした様子を見せていた子どもたち。

鈴の音を鳴らしサンタが登場すると、不思議な表情を見せたり、怖がって泣いてしまったり見ました。プレゼントを受け取るという自覚が保育者に見せ、さっそく遊び始めます。

今年度は感染症予防のため、残念ながら各部屋でのバイキングとなりましたが、好きなものをお腹いっぱいになるまで食べました。プレゼントに、おやつケーキにと大満足な一日でした!

(保育士 荒井)



お正月



『明けましておめでとーいねいませ。』『職員が新年の挨拶をする。子どもたちは不思議そうな表情を浮かべながらも真似をするようにお辞儀をしています。』

元旦は新しい洋服を着て鏡餅やだるまと一緒に記念撮影をします。普段は見ることのないお正月飾りに興味津々の子どもたち。そんな中、鏡餅の上に乗っている見慣れたみかんを見つけると、「みかん」と言いながら指でそっと触れて笑っていました。



元旦の朝食メニューは立派なおせち料理です。大きな重箱に入った色とりどりの食材を目の前にすると、子どもたちは目をキラキラとさせています。

中には驚いて口を開けている児も……。美味しいおせち料理をお腹いっぱい食べてとても素敵なお正月になりました。

(保育士 梅村)



節分

『おにはそと〜くはくは〜』節分が近づくと歌が聞こえてきたり、壁に貼られた鬼の絵に豆に見立てたボールを投げて鬼退治の練習をする子どもたち。当日が近づくと、「鬼が来るのかな?」とちょっぴり怖くて泣いてしまったり見ました。

今年は二月二日に行われた節分の日。各部屋で遊んでいる所に太鼓の音を響かせながら鬼が現れると…怖くて泣き出し、保育者の背中にすっぽりと隠れる児がいたり、低年齢児は不思議そうに見入っていました。怖かったけれど、一生懸命豆の代わりであるお手玉で鬼退治。最後には鬼と握手をして無事に乗り切ることが出来ました。

悪いものを追い払って、今年一年みんなが健康に過ごせますように!

(保育士 荒井)



心理士から

今回は「情動調律」についてお話したいと思います。

情動調律「フシロ」



「情動調律」といって何を聞いたことがある方はいるでしょうか。「情動」とは気持ちのこと、「調律」とはピアノなどの楽器でおこなうチューニングのこと、転じて波長を合わせることです。つまり情動調律とは、「相手の気持ちに波長を合わせ、寄りそつ」という意味になります。

ことばが未発達な子どもは、自分の気持ちをうまく伝えたり表現したりすることがまだできません。大きな声で泣いたり、床に寝転んだりぐずったり、物を投げたりいやいやしたり・・・ありとあらゆる手段で気持ちを表現しようとしています。それを側にいる大人が「〇〇だったのね」「〇〇が嫌だったのかな」と、気持ちに寄り添いことばにしてあげると、子どもは「この人は自分のことをわかっていてくれる」と感じるようになります。



情動調律は、決して特別で専門的なテクニックではありません。普段の生活を過ごす中で「これはいいね」「お花がきれいだね」「虫がかわいいね」「公園で遊んで楽しかったね」「お風呂に入ってさっぱりしたね」と、さまざまな場面で大人は子どもの気持ちに波長を合わせています。そういうことを、人は知らず知らずのうちにやっているのです。

もちろん、大人の予測が100%的中するとは限りません。外れることもあります。特に子どもが泣いているときは大変です。床に子どもが寝転がって泣いていると、そばにいる大人は「なんで泣いているのかわからないよ・・・」と、途方に暮れることもあります。大人が泣きたくないこともあるでしょう。でも、たとえ子どもが感じている気持ちとは違っていたとしても、そばにいる大人が理解しようとして続けていること自体が大切な意味を持っています。



人は基本的に、子どもでも大人でも、人から「わかってもらいたい」気持ちを抱えています。人からわかってもらえたと感じ

ると、安心したり気持ち軽くなったりします。情動調律を通じて「わかってもらえた」という体験を積み重ねることが、人を信頼して、生きる力を育てていくことにつながっています。

(心理士 戸田)



寄付のお礼

今年度、寄付をいただいた方々にこの場を借りて御礼を申し上げます。

福楽得、麦の会、雙葉小学校・中学校、かみさぎ皮膚科、太田美登里、他、匿名希望の方数名（順不同・敬称省略）

いただいたものは全て子どもたちのために大切に使用させていただきました。ありがとうございました。



ナースの一言アドバイス

《薬の飲み方について》

今年も新しい年が始まりました。厳しい寒さの日が増え、体調を崩しやすい日が続きますね。

さて、『インフルエンザ』や『感染性胃腸炎』等が流行する冬がやってきましたが、今年は『**新型コロナウイルス感染症**』の流行も重なっています。

新型コロナウイルス感染症が発生してから、一年程が経過し、新しい生活様式にも慣れ、マスクをするのが一般的になりましたね。

みなさんの体調はいかがでしょう？子どもたちは、様々な病気に罹りやすく、薬を飲むことも多いです。今回は、薬の飲み方についてお伝えしたいと思います。

〈粉薬の場合〉

水で練る方法↓2〜3滴の水で薬を練り、耳たぶくらいの高さにします（スポイトを使うと便利です）。硬い時は、1滴ブラスしてみましよう。次は、練った薬を頬の内側や上顎に貼りつけます舌の上は、味を感じてしまつので避けた方がいいで

す。その後は、水を飲ませましよう。口の中に薬が残っていることもあるため、もう一度水を飲ませるとよいです。嫌がる時は、薬用ゼリーを試してみましよう。

〈シロップの場合〉

成分を混ぜ合わせるために、軽く振りまです。強く振ると泡立ってしまったため、気をつけてください。容器を平らな場所に置き、目盛りを水平から見ても量を測ります。乳児の場合は、乳首を口に含ませて少しずつ吸わせたり、スポイトで口の奥の方に入れます。あまり奥まで入れすぎるとむせてしまうので注意が必要です。

※気を付けること※



①薬の効果を得るため、指示された量をしっかりと飲みましよう。シロップなどに薬が残っていないか確認してみてくださいね。

②ミルクに混ぜたり、ジュースで飲ませると、ミルクを飲まなくなってしまうたり、苦みが増してしまつ場合もあります。薬を嫌がる場合や心配な時は、薬剤師さんに相談してみましよう。

（看護師 小林）

今後の行事

- 3月 ひなまつり
- 4月 イースター
- 5月 子どもの日

お知らせ

聖オディリアホーム乳児院のホームページがあります。合わせてご覧下さい。

<http://odilia.jp>

☆編集 後記☆

季節が冬へと移り変わり、寒い日が続いていますね。この時期は行事が盛り沢山で、子どもたちは一つひとつの行事を楽しんでいます。また、天気の良い日には戸外で思い切り身体を動かしています。様々な感染症もあり気の抜けない冬となりますが、元気に毎日を過ごしていきたいと思います。

（保育士 荒井）